

サン・エデュケーション
オンラインセミナー

LGBTQ+の存在を前提とした 教育のあり方を考える

～学校現場・医療現場を中心として～

主に学校教員、医療関係者を対象に、
LGBTQ+の存在を考慮した対応の必要性を喚起し、実践的な対応を学びます。
日高庸晴教授が長年にわたって実施・継続されてきた調査のデータを根拠に、
LGBTQ+の学生や患者が安心して通うことができるための実践的な対応を学びます。
セミナー内で日高教授監修の映像教材の上映も行い、
多角的多層的な理解を目指します。

参加費
無料

講師

日高 庸晴 先生
(宝塚大学看護学部教授)



撮影：刑部友康

2026年

12.10

木

18:30～20:00頃まで

※上記配信の後、1週間のアーカイブ配信を予定しています

対象

学校教員（小学校・中学校・高等学校・大学）、
医療関係者（医師・看護師等）、自治体（人権・男女共同参画課等）

【主催】株式会社サン・エデュケーション

【協力】株式会社医学書院、株式会社小学館、日本性教育協会

詳細・お申し込みは
こちら



日高 庸晴 先生（宝塚大学看護学部教授）

京都大学大学院医学研究科博士後期課程修了、博士号（社会健康医学）取得。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員、公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント等を経て現職。

文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、監修した法務省企画の人権啓発映像はYouTubeで約277万回の再生回数にのぼっている。これまでに文部科学省・厚生労働省・法務省・人事院・警察庁や最高裁判所、地方公共団体が主催する研修講師を多く務める。2023年には内閣府「性的指向・ジェンダーアイデンティティ理解増進連絡会議」における初回の有識者ヒアリングでこれまでの調査結果を報告した。



撮影：刑部友康

上映予定作品



カミングアウト ～落とし穴に陥らないために～

②児童生徒のカミングアウトに向き合う《教員向け》 23分 監修：日高庸晴

性的指向とジェンダーアイデンティティの多様性に関する知識を持ち合わせていても、実際にカミングアウトしている当事者との関わりの経験がない教職員も多く、不本意に傷付けてしまった対応も報告されています。

本作では、児童生徒のカミングアウトについて、教職員がどのように受け止め、どのように対応すべきなのか、また、間違った対応がどのような事態を引き起こす可能性があるのかを描きます。



レインボー・ストーリーズ LGBTsと医療

②誰もが安心して通える病院づくり

23分 監修：日高庸晴

LGBTs当事者やその家族が通しやすい病院や診療環境づくりをドラマ仕立てで考えます。待合室の呼び方から病衣などの問題をはじめ、医療現場で起こりがちな様々な課題を扱い、実践的な取り組みや診療コミュニケーションの在り方に、具体的なヒントを示すとともに、医療従事者が性の多様性を学ぶ必要性を喚起します。



参考図書



『LGBTQ+の健康レポート
誰にとっても心地よい医療を
実装するために』

（医学書院 2024年）

著 日高 庸晴



『ぼくのスカート』

（小学館 2023年）

作・絵／ピーター・ブラウン

監・訳／日高庸晴



株式会社 サン・エデュケーションル

〒192-0065 東京都八王子市新町1-8 かんベビル5階 TEL. 042-634-1930 FAX. 042-634-1931 <https://www.sun-edu.co.jp>